

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

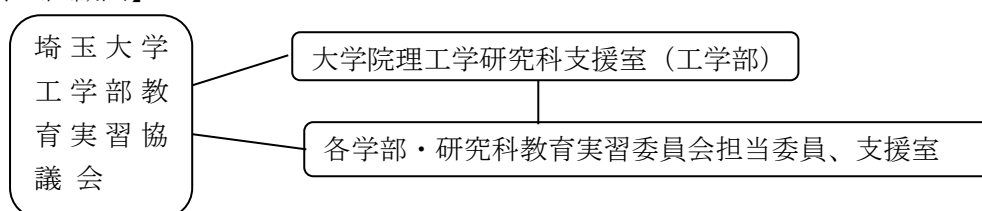
教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習の時期 4 年次 5 月～6 月、9 月～10 月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 中学校 4 週間（140 時間）、高等学校 2 週間（70 時間）
③	教育実習校の確保の方法 教育実習希望者数により教育実習協力校に割り当てる
④	教育実習内容 ・全授業時間 140 時間中、指導講話・授業参観・指導授業等を約 50 時間、実施授業・研究会等を約 90 時間（うち研究授業 2 時間）行う。 ・全授業時間 70 時間中、指導講話・授業参観・指導授業等を約 25 時間、実施授業・研究会等を約 45 時間（うち研究授業 2 時間）行う。
⑤	教育実習生に対する指導の方法 大学側教員と実習校側の校長、副校長（教頭）、実習担当教諭とが打合せて行う。
⑥	教育実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 埼玉大学工学部カリキュラム部会が、実習校からの資料に基づき評価し単位認定する。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 事前指導・・・教育実習の前年（14 時間） 事後指導・・・教育実習後（2 時間）
②	内容（具体的な指導項目） 事前指導 1. 教育実習生活（意義・目的・実習生活のあり方・実習計画の作成） 2. 生徒の態度 3. 学校、家庭、地域社会の連携 4. 学級経営 5. 特別活動（生徒指導、学級活動、学校行事など） 6. 授業参観の方法 7. 学習指導の計画と実践 （1）授業計画の立て方 （2）授業実践の方法 8. 授業の実際と評価 事後指導 教育実習の体験を踏まえての、実践的な教育問題の指導

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称
「埼玉大学工学部教育実習協議会」
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
教養学部、大学院理工学研究科（理学部及び工学部）選出の委員（各1名）
- ・ 委員会等の運営方法
各学部選出委員との打合せ等

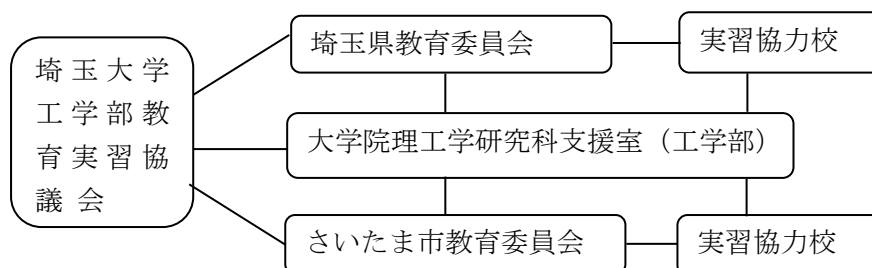
【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称
「埼玉大学工学部教育実習協議会」
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
埼玉県教育委員会 主幹兼主任管理主事1名、主幹管理主事1名、管理主事2名
さいたま市教育委員会 主席指導主事兼係長1名、指導主事2名
- ・ 委員会等の運営方法
担当内の打合せ等

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状取得に必要な、指定された科目を履修済み、または履修中の者。

5 実習校					
教育 実習	体験 活動				
○	×	学校名	埼玉県立浦和高等学校（埼玉県さいたま市浦和区領家 5-3-3）	学級数：27	生徒数：1,075人
		教員数	75人（内訳）教諭73人、助教諭0人、講師0人、養護教諭2人、養護助教諭0人、栄養教諭0人		
○	×	学校名	埼玉県立浦和北高等学校（埼玉県さいたま市桜区大字五関 595）	学級数：24	生徒数：948人
		教員数	77人（内訳）教諭68人、助教諭0人、講師7人、養護教諭2人、養護助教諭0人、栄養教諭0人		
○	×	教育委員会名	さいたま市教育委員会	中学校：58校	高等学校：3校
				中等教育学校：1校	

承 諾 書

令和3年10月29日

埼玉大学工学部長 殿

埼玉県立浦和高等学校長 水石 明彦

令和3年10月12日付け、埼玉大工学第108号で依頼のありましたことについて、教育実習指定校になることを承諾します。

承 諾 書

令和3年10月29日

埼玉大学工学部長 殿

埼玉県立浦和北高等学校長 佐藤 智明

令和3年10月12日付け、埼大工学第108号で依頼のありましたことについて、教育実習指定校になることを承諾します。

承 諾 書

令和3年12月23日

埼玉大学工学部長 様

さいたま市教育委員会教育長

細田 眞由美



令和3年12月13日付け、埼大工第108号で依頼のありましたことについて、下記のとおり、教育実習指定校になることを承諾します。

記

教育委員会名	さいたま市教育委員会
所管中学校数	58校
中等教育学校数	1校
高等学校数	3校
(令和3年5月1日現在)	